

学校だより



春里



平成29年度 2月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

夢に向かって

校長 松井 秀史

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とよく言われます。1月は正月があり2月は28日で普通の月より短く3月は年度末なのでやる人が多い。こうしたことから、1、2、3月は日が早く過ぎる（やることが多いのに思うように進まない）ということを表示しているようです。「いつの間にか逃げて（終わって）しまった!」ということのないように、子供たちが毎日大切に一步ずつあわてることなく成長できる2月となることを願っています。



身体も心も健康に

今年のインフルエンザは、特徴である「高熱」にもならず、下痢や嘔吐でウイルス性胃腸炎と間違えることもあるようです。気が付いた時には周りにうつしてしまったということになりかねませんので十分注意してください。身体だけでなく心の健康を維持するにも厳しい季節です。行動することに消極的になり、つい内向的にネガティブに物事をとらえ、そんな自分に自信が持たなくなる・・・といった心情になりがちではないでしょうか。心の健康を保つためには「運動をしてひと汗かく」「安心できる人と話をする」「ゆっくり休む」「自分が楽しいと感じることをする」等々人それぞれですが、自分に合った健康法を持つことはとても大事なことです。



あなたの夢は？

中学時代は、自分の未来へ向かってぐんぐん伸びていく時期です。自分の人生をなんとなく思い描き、迷いますが、自分なりの道筋を考えなくてはなりません。そのためには「夢」、「希望」が必要です。「夢をたくさん持っている人は、ぐんぐん伸びていく」と言われます。「夢」と呼べるものを頭に思い浮かべることは希望となり、人生を楽しくしてくれます。大きな夢でなくても身近

なことでやりたいことはたくさんあるはず。将来なりたい職業も夢ですし、そのほかにも心の中にはたくさんの『夢』が詰まっているはず。 「部活で勝ちたい」「美味しいもの食べたい」「学力を身に付けたい」夢はその人その人違ってよいのです。生徒が、やりたいことをみつけ一步一步前進して成長できる学校でありたいと考えます。

未来を切り拓く試練

今、3年生は、自分の進路に向かって不安と闘いながら日々努力を続けています。その不安は自分の未来を切り拓く大事な試練なのです。早いところでは合格発表の知らせも届いています。合格を受け取った人は、今の喜びの気持ちをちょっと抑えて、これから受験する人たちのために雰囲気づくりをしてください。これも大切な勉強です。人としての優しさ、気遣いを学ぶ良い機会ですのでご家庭でも話題にしていただければ嬉しいです。3年生だけでなく1、2年生も1年後2年後の自分に重ね合わせて先輩の頑張りを感ぜとり、自分の夢の実現に向かって前進してほしいと願っています。



ちょっと一言・・・

先週雪が積もりました。「踏切で立ち往生しているときに春里中の2年生3人が走り寄って助けてくれた」という方が学校にあいさつに来てくださいました。そのほかにも「竹藪から出られなくなってしまった車」や「スリッパで動けない車」を雪まみれになりながら押した生徒が何人もいたようです。滑って転んでしまったお年寄りを助けたとの報告もあり、春里中生のやさしさ逞しさを感じてうれしくてうれしくて・・・。

一年のうちで最も寒い時期です。しかし、春はすぐそこまで来ています。3年生は苦しいときですが、春里中生らしく力強く努力! 「がんばれ受験生!」「頑張ろう春里中生!」